

■主役は俺だ－2024年秋①

□辻 和希（つじ・かずき） 北海道大4年 RB/WR

昨季はリーグトップのパス攻撃を軸にTDを量産して全道王者に輝いた北海道大だが、今季は中心選手のけがもあり、春季オープン戦では3連敗と精彩を欠いた。攻撃力アップを課題にした合宿をへて臨む秋本番。チームに「喝」を入れるのが最上級生の仕事だ。急きょ抜擢されたRBと、WRの「二刀流」で3連覇へとチームを牽引するのが辻。昨季、けがで出番の無かったうっぶんも晴らし、ラストシーズンに存在感あるプレーを爆発させるつもりだ。

昨季まではWR。178センチ、83キロの恵まれた体と、札幌北高時代に野球部で培ったキャッチ力でパス攻撃の一翼を担った。今季、RB陣が手薄になったためRBの出番も回ってきた。7月14日の北海学園大とのオープン戦ではRBで先発したが、攻撃ラインの不調もあり、サイズを生かしたランは不完全燃焼で終わった。「まず、ボックスの動きを覚えること」と猛勉強しながら、「ボールを持ったら、タックラーを引きずってでも前に進みたい」と巻き返しを誓う。2022年シーズンのMVPの工藤輝一、23年シーズンのベストイレブンRBの榊琢也という北大伝統のRBの系譜を意識しながら、「工藤さんや榊さんという良いお手本に近付きたい」と決意する。



「二刀流」のもう一つ、WRの出番にも準備を怠らない。昨季のMVPレシーバーが卒業し、今季のエースWR候補がチームを離脱したため、レシーバー陣も手薄になった。「キャッチ力は自信がある。ラン・アフター・キャッチも頑張りたい」と力を込める。けがで昨季を棒に振ったQB山本康介（4年）が復帰した今季。山本の完全復活を支えるためにもレシーバー陣の奮起が欠かせない。「QB山本、WR田中夏暉と自分の4年生3人で攻撃を引っ張る。優勝し、全日本大学選手権で東海地区代表にも勝ちたい」と、静かな語り口の中に熱い決意を込めた。（塚田博）

〈プロフィール〉

2002年8月20日、東京生まれ。小学4年から札幌在住。文学部人文科学科4年。中学、高校の野球部の先輩でもある吉田晴太（今春卒業）に誘われて入部した。